



feeling

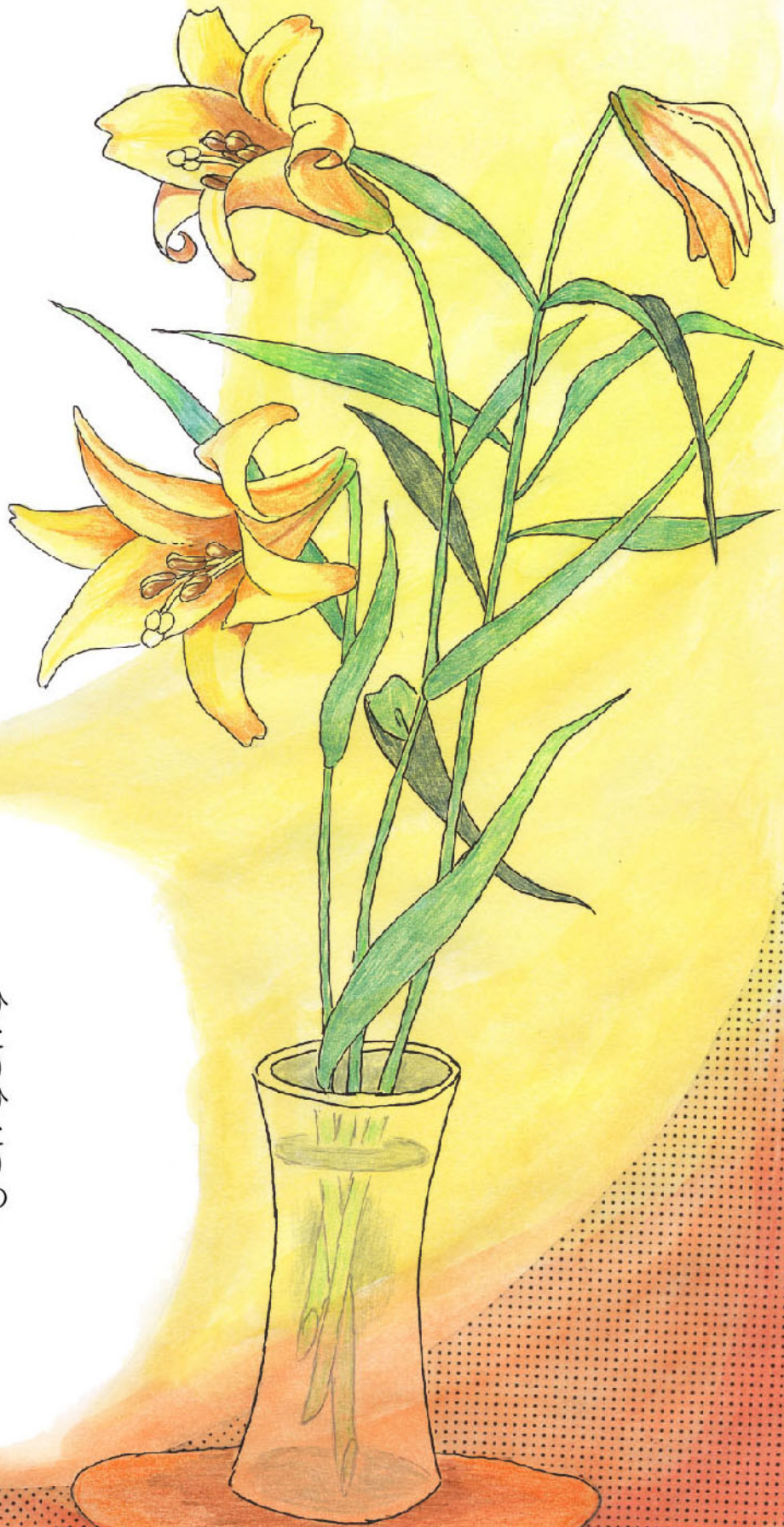
P o e m s a n d I l l u s t r a t i o n s o f A k i h a r a K i y u

A k i h a r a K i y u

杉原希勇

想いのまま、
感じるまま、
花のように心を開いて

ひとりひとりの
フィーリング。



f e e l i n g A k i h a r a K i y u

目次

オープニング	1
ポエムのトビラ	2、3
風の回廊	4、5
エブリ・デイ	6、7
清く正しく美しく	8、9
ハロー・ポップ	10、11
10時48分の静寂	12、13
桃色の花の下	14、15
ちよつと足を止めて	16、17
笑顔	18、19
天空へ	20、21
時空郷	22、23
エンディング	24



Poem

ようこそ、ポエム・ワールドへ。

文字と絵が作り出す素敵な世界が
こちらのトヒラの向こうであなたを待っています。

この世界には10のポエムがあって、
それぞれに物語があります。

愛、勇気、希望、不思議
そして、恐怖さえも感じることができるでしょう。

ポエム・ワールドのテーマは「ヒト」。
物語の主人公はあなた自身です。

あなたのフィーリングで、
文字と絵が織り成す
10の物語を感じ取ってくださいね。

それでは、トヒラを開けて…
ほんのちょっと日常を忘れ
素敵なポエムの世界を散策してください。



風の回廊

耳を澄ませば聞こえるはずだ。
遙か上空から、大地へと駆け降りる音が。

垂直にそそり建つ
巨大な物体の壁面を抜けて。

切り裂かれたコンクリートの
無機質な空間を抜けて。

目を閉じれば見えるはずだ。

瞳に映る姿ではなく、
瞼の裏に焼き付く人々。

彼らはここにいます。

彼方へ遠去かり、
また上空へ舞い上がり
再び大地へ駆け降りて来る。

さあ、その声を聞こう。

心を感じ…その姿を捉えよう。



エブリ・デイ

やっぱり来たぞ。同じ場所に同じ時刻。
多口と四口田だ。

(挨拶くらいしただらうござい)

毎日、黙々と荷物を運んでいる。

きつと、真面目で無口なヤツなんだ。

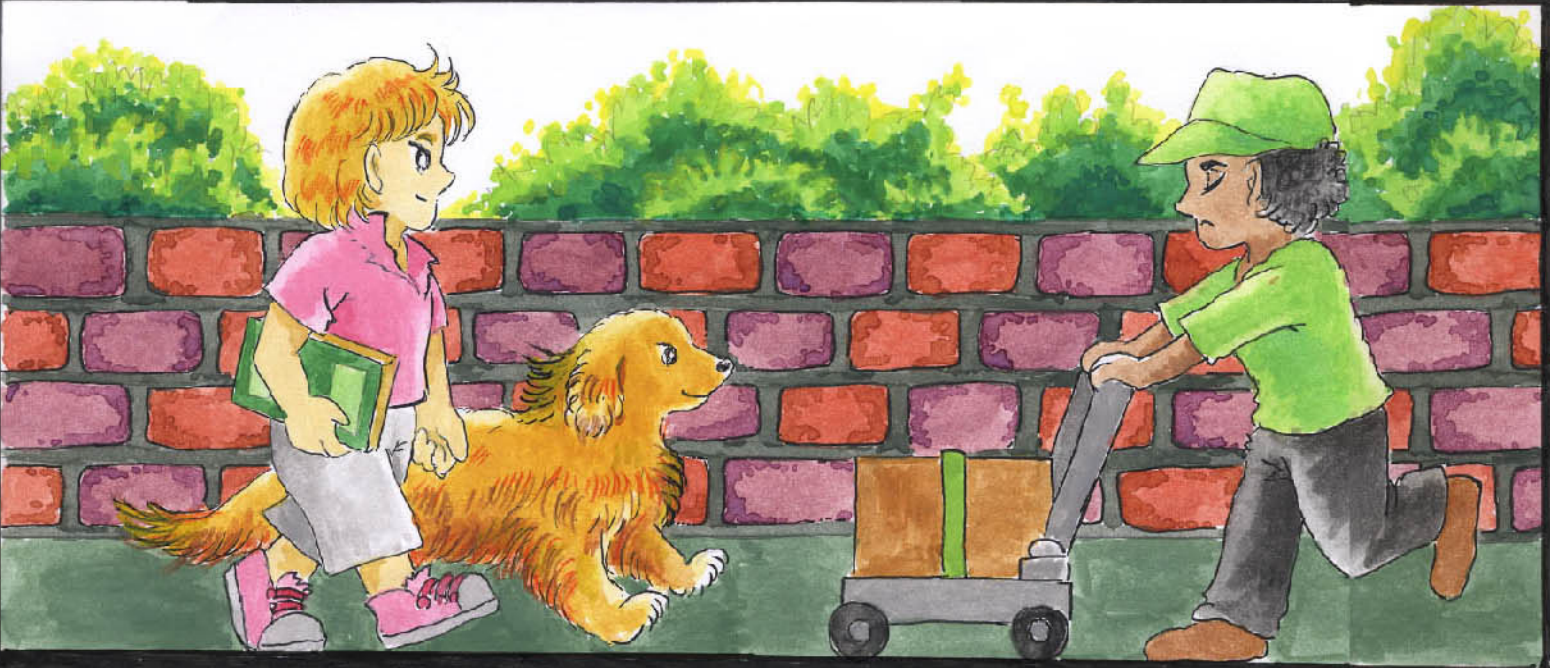
(きみとは正反対だね)

なんて名前だろう。

マイクか…いや、

フランクって顔だな。

(だから、声をかけて聞いてみよう)



キミの、名前がフランク…。

だよ。

イヌが嫌いだっただけでいいよ。

(好きだよ。

ホウキを気遣って掃除してるから)

来ると、来ると。

おーおー、多口と四口田はまた来たな。

(ごきげんよう)

「……………」(……………)



やっぱりだめだ。また失敗。

どっしりとしたおんなのこだ。

(やれやれ。いつもはお喋りなのに)

よおーい、あした、

もう一度チャレンジしようかな、ジヨン。

(ホウキも一声吠えて協力するよ。

頑張ろうね)

清く 正しく 美しく

「えー、市民の皆さま。わたくしにぜひ、清き一票を」

「よく言うわよ。それは何枚目の舌で喋ったの？」

「とりあえず、わたくしに正しい一票を」

「しらじらしいねえ。市民は選挙どころじゃないとさ」

「そうそう。自分の身の回りだけで精一杯」

「だからテキトーなこと言ってりゃ、
またおいしい席に座れるんだよ」

「その通りよ。袖の下、たっぷり開けておいてね」

「お札の厚みが議会の信頼」

「ちょっと、皆さん。
本音はけっこうだけど、前を通る人に聞こえますぞ」

「えっ？まさか、この子に？」

「おーっと、そいつはマズい」

「とりあえず、美しい笑顔で」

「それでは、皆さん。ハイ、ニコリ!!」

わいろ市議会議員選挙ポスタ

